

Blue Pride

～青小の底力～

校長 高山直也



3月弥生の月、学校は卒業シーズンを迎えます。その3月に先立って、2月25日(土)今年度最後の土曜授業の日、あすなろ学級は「卒業・進級を祝う会」を行いました。成長した自分のことを発表する姿に、この1年間の積み重ねの偉大さと、一人一人の自信を感じました。歌あり合奏もあり。そして最後は6年生4人の、あすなろでの思い出、成長したこと、感謝、そして未来への誓いを聞きました。卒業生の保護者の方々の思いや、感謝の言葉も聞きました。涙腺が崩壊しました。卒業する4人は、心も体も出会った3年前と比較にならない大人びた姿で、涙ながらに話す母を優しい眼差しで見守っていました。これまで決して順風ではなかった6年間だったと思います。でも、子供たちはここ青山小学校で行きつ戻りつしながら、成長の階段を確実に歩んできました。緊張をエネルギーに替え、伸びやかに自分の思いを語る姿に、あらためて学校の意味、教育の意義、家庭の偉大さを感じました。

この日はあすなろ学級だけでなく、他の学年でも今年度の成長を確かめ、次の学年へ進むステップとなる発表がありました。また、その隣では真剣に授業に取り組む姿もありました。その一つ一つが感動ですが、決して順風満帆ではありませんでした。むしろ学校での1年間は、足踏みして止まったり、後退したりすることも目立ちます。人間ゆえの悩みや自信を失うなどの、心の揺れに見舞われます。しかし、「できる」・「できない」が分かってしまうことも、失敗することも、実は成長の大切な一歩なのです。友達と違う自分に気付くのも、心地良い友達が分かるのも、本物に触れること、本気の人に出会うことも、何かに感動し、何かに笑い、何かに涙し、何かに怒る…深い喜怒哀楽を経験するのも、成長の大切な一歩です。これらは決して1人で、家族だけで、習い事で、仲の良い友達だけでは体験・経験できるものではありません。青小という小さいけどダイナミックで奥深い空間での、様々な個性の子供たちと先生・職員が織りなす日々のドラマから生まれてくるのです。

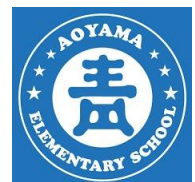
学校の意味 青小の底力 Blue Pride

今年度、本校全ての学年・学級で行われたゲストティーチャーから教わる学習(本物を呼ぶ、本物に会いに行く)の総数は、驚くことに150回を越えました。教えていただいた本物の先生は、何と500人に迫ります。子供たちは本物に触れる機会を数多くもてた1年でした。これも学校の存在する意味、青小の底力に他なりません。小規模校は課題もありますが、強みは小回りが利き、フレキシブルに「呼べる」「行ける」、そして少人数だからこそ身近にダイレクトに体験・経験できることです。そして全学年の活動には、一貫して「人間」「地球」「平和」の3つの柱(理念)が意識されていました。

『人間・地球・平和を尊び、持続可能な社会を創る人材を育てる』

私たち青小のMissionであり、これこそがBlue Prideです。3月弥生の季節、卒業していく子供たちがBlue Prideを身にまとい、明るい未来へ大きく羽ばたいてくれますように。そして青小の全ての子供たちが、蒔かれた一人一人の成長の種を大きく膨らませ、次へと大きく歩み出してくれますように。

この1年間、保護者・地域の皆様の、青小への多大なるご理解と、ご協力に心から感謝いたします。私たち青小に関わる大人も、いつも心にBlue Prideの火を燃やし続けていきましょう。



3月の行事予定

にこにこ大きくせん

「青山小学校のみんなをにこにこにしたい!」と、1年生のいじめゼロプロジェクト「にこにこ大きくせん」はスタートしました。「嬉しい、楽しい時、にこにこになるよ。」「恩返ししたい!」「ふんわりハートになってほしい。」と1年生ながら意見を出し合い考えました。

にこにこ大きくせんで、友達を作りたい!一緒に遊んだり、あいさつしたりしたいと、にこにこバッジを付けてあいさつ運動に取り組みました。

あいさつ運動最終日は、自主的に参加する児童も加わり、朝から元気なあいさつが校内に響き渡りました。「大きな声であいさつしてくれた。」「にこにこしてあいさつしてくれた。」と自分達の活動に手ごたえをもつことができました。



1年担任

6年生より

小学校生活最後の運動会、移動教室、展覧会。「小学校生活最後の〇〇」という行事などを終えて、早11か月が過ぎました。子供たちは、いよいよ卒業に向けて心が向いている所です。

最後の一か月のテーマは「感謝」。12年間育ててくれた保護者の皆様への感謝。6年間教わった先生方への感謝。青山小学校で過ごすことができる日々は残り僅か。様々な感謝を伝えることで、青山小学校という学び舎の存在を再確認できる時間となればと思っています。

小学校生活は終わりですが、中学校への架け橋が円滑にできるように、気持ちや生活面をより高めることができるように、今まで以上に努めてまいります。



6年担任



日	曜	主な行事予定
1	水	午前授業 6年生を送る会
2	木	安全指導 ●
3	金	学級活動 5時間授業 (6年以外) 感謝の会
4	土	
5	日	
6	月	全校朝会 ○岩渕
7	火	読み聞かせ あいさつ運動5年 (~10日)
8	水	
9	木	6年理科見学 ●
10	金	たてわり 4年社会科見学 あすなる保護者会
11	土	
12	日	
13	月	全校朝会 ○
14	火	あすなる学級消防署見学
15	水	4年ののあおやま
16	木	
17	金	学級活動 6年子供を笑顔にするプロジェクト
18	土	
19	日	
20	月	全校朝会
21	火	春分の日
22	水	1~4年午前授業 5・6年卒業式予行 給食終
23	木	卒業式 (5・6年) ※1~4年休業日
24	金	修了式 (1~5年) 午前授業
25	土	
26	日	
27	月	春季休業日始 (~4月5日)
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

●○・・・カウンセラー来校日

※予定は、変更になる場合があります。

※3月の避難訓練は、予告なしで行います。

今月の目標

生活目標 1年間をふりかえろう

保健目標 健康生活の反省をしよう

給食目標 1年間をふりかえろう(食事の大切さ)

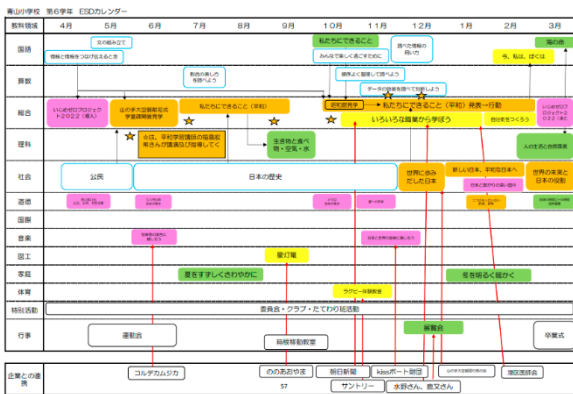


～SDGsにつながる学校の学びの様子～

今年度の研究より

研究主任

今年度、「物事をより広く、深く考え、自分事として発信・行動できる児童の育成～青小が始める持続可能な社会づくり～」という研究主題の下、青山小学校一丸となり教育活動を進めてまいりました。様々な企業と連携を取り、学習活動をより自分事として捉えることができるように工夫してまいりました。各学年、青山小学校の教育が特色あるものとなるように、試行錯誤を重ね「ESD カレンダー(図1)」や「企業との連携表(図2)」を作成しました。青山小学校の子供たちのために教育活動が持続可能なものとなるように、今後も教員一同研鑽を積んでまいります。

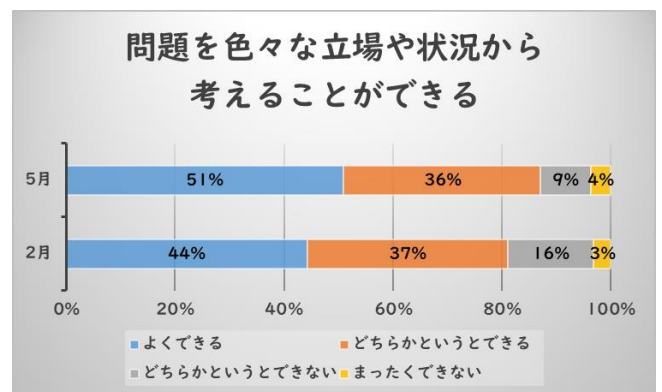
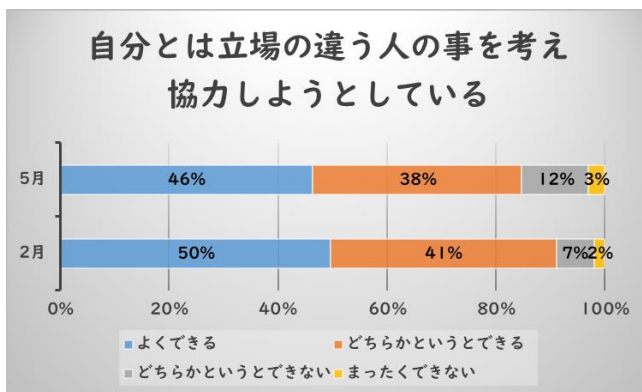


(図1)ESD カレンダー

2 年 生	赤坂図書館	まちたんけん		
	青山運動場	まちたんけん		
	都立青山墓地	まちたんけん		
	但馬屋		まちたんけん	
	梅窓院		まちたんけん	
	青山すこやか本舗		まちたんけん	
	ののおやま			まちたんけん 生き物販売
	露木志奈			
	青山公園			
	魚仙			
	PITZ			

(図2)企業との連携表

児童の意識調査の変容



左のグラフ「自分とは立場の違う人の事を考え協力しようとしている」という質問に対して、「よくできる」と答えた児童が46%から50%に上がりました。他の人の立場を自分事として考えられる児童が増えていると考えられます。

右のグラフ「問題を色々な立場や状況から考えることができる」という質問に対して、「よくできる」と答えた児童が51%から44%に減っている。問題意識をもつようになり、より深く考えることができるようになったが、今後は授業の中での思考の流れが見えるような活動内容の工夫が必要であるということが課題となりました。

2月 青山小 生活の様子

雪遊び (1年生)



ポッカレモン出前授業 (6年生)



子どもを笑顔にするプロジェクト ～ファンクション鑑賞教室～



社会科見学(5年生)



商店街と学校給食コラボメニュー



- 特製ボロネーゼ
 - バーニャカウダの
インサラタ
 - レンズ豆の
ミネストローネスープ
- ボロネーゼのレシピは、港区のHPで紹介されています。

リコーダー発表会～2年生へのプレゼント～(3年生)



進級を祝う会(あすなろ学級)

